



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2011年（平成23年）12月25日号 No. 1549

目次

■ 2011年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入	1
■ ロシアの食品小売業	7
■ エトセトラ	9
『調査月報』2012年1月号のご案内／9	
■ キーパーソン	10
ロシア下院選結果と関連人事／10	
モルドバで大統領の不在が続く／10	
2012年のロシア・NIS選挙スケジュール／10	
■ トピックス	11
伊藤忠丸紅鉄鋼がモスクワに販社設立／11	
伏木富山港新ルート研究会が対ロ定期便誘致／11	

2011年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入

はじめに

2011年1～9月のロシアの貿易と外国投資受入の統計データが出揃ったので、今回の速報では恒例によりこれらのデータを図表にまとめてお届けすることにする。

ロシア中央銀行の国際収支統計によると、2011年1～9月のロシアの商品輸出総額は3,777億ドル（前年同期比31.4%増）、輸入総額は2,325億ドル（34.9%増）で、収支は1,452億ドルの黒字であった。国際収支ベースの過去数年の輸出入額を、月別に跡付けたのが図1である。ロシアの貿易はリーマン・ショック後の落ち込みを脱し、最盛期の2008年前半の水準にまで回復してきていることが分かる。

一方、ロシア連邦関税局の通関統計によれば、2011年1～9月のロシアの商品輸出総額は3,753億ドル（前年同期比31.3%増）、輸入総額は2,210億ドル（39.6%増）で、収支は1,543億ドルの黒字であった。貿易の商品別や相手国別の内訳を知ることができるのは通関統計なので、以下では通関統計を利用しながら1～9月期の貿易動向につき吟味する。その際に、関税同盟に起因する通関統計のデータ欠落の問題がある。ロシアの通関統計には以前から対ベラルーシ取引が反映されていなかったが、今般3国関税同盟が発足したことに伴